

# 令和4年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団事業報告書

令和5年3月31日現在

## 1 事業の概要

老人福祉法の理念に基づき、急速に進む高齢社会が健全な環境のもとで施設を利用できるように、処遇改善や職員の資質の向上に努めながら、次の事業を行った。

### (1) 常陽社会福祉事業団の事業目的

常陽社会福祉事業団は、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の事業を行った。

#### ア 第一種社会福祉事業

- (ア) 養護老人ホーム清風園の経営
- (イ) 養護老人ホーム望峰園の経営
- (ウ) 特別養護老人ホーム白寿園の経営

#### イ 第二種社会福祉事業

- (ア) 庄内デイサービスセンター（サテライト西岳含む）の経営
- (イ) 横市デイサービスセンターの経営
- (ウ) 老人短期入所事業 白寿園の経営
- (エ) 老人短期入所事業 庄内の里の経営
- (オ) 訪問介護事業 望峰の経営
- (カ) 生計困難者に対する相談支援事業（みやざき安心セーフティネット事業）
- (キ) 小規模多機能型居宅介護創生館の経営

#### ウ 公益事業

- (ア) 居宅介護支援事業所 ケアプランサービスゆう
- (イ) 特定施設入居者生活介護事業所 清風園
- (ウ) 都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

### (2) 役員等に関すること

#### 現役員・評議員

役職	定数	氏名
理事	6名	馬渡 久続（理事長） 野口 和行、瀧上 澄雄、根井 勝泰、松尾 久丸、日高 覚助
監事	2名	田中 瑞生、恒松 繁雄
評議員	7名	原田 誠一郎、瓦田 節子、大橋 正敏、坂元 和雄、本村 順吉 池脇 隆一、肥後 信行

(3) 理事会・評議員会の開催状況に関すること

令和4年度理事会及び評議員会において、次の事項について決議した。

【理事会】

開催日	議案	結果
令和4年第2回 令和4年6月7日(火) 理事6名、監事1名	⑨ 令和3年度事業報告について ⑩ 令和3年度理事長の職務執行状況報告について ⑪ 令和3年度事業団会計決算報告について(監査報告) ⑫ 事業団評議員会の招集等について	可決 可決 可決 可決
令和4年第3回 令和4年11月16日(木) 理事6名、監事2名	⑬ 令和4年度事業団会計補正予算(第1号)について ⑭ 令和4年度理事長の職務執行状況報告について ⑮ 職員就業規則の一部を改正する規則の制定について ⑯ 事業団給与規程の一部を改正する規程の制定について ⑰ 経理規程の一部を改正する規程の制定について ⑱ 事業団評議員会の招集等について	可決 可決 可決 可決 可決 可決
令和5年第1回 令和5年1月11日(水) 理事6名、監事2名 同意書:理事6名 確認書:監事2名	<決議の省略> ① 横市デイサービスセンターの休止について ② 事業団評議員会の招集等について	可決 可決
令和5年第2回 令和5年3月7日(火) 理事6名、監事2名	③ 令和4年度事業団会計補正予算(第2号)について ④ 経理規程の一部を改正する規程の制定について ⑤ 令和5年度事業団経営方針及び事業計画について ⑥ 令和5年度事業団会計予算について ⑦ 事業団評議員会の招集等について	可決 可決 可決 可決 可決

【評議員会】

令和4年第2回 令和4年6月23日(木) 同意書:評議員7名 確認書:監事1名	<決議の省略> ④ 令和3年度事業報告について ⑤ 令和3年度事業団会計決算報告について(監査報告)	可決 可決
令和4年第3回 令和4年11月24日(木) 評議員7名	⑥ 令和4年度事業団会計補正予算(第1号)について	可決
令和5年第1回 令和5年1月20日(金) 評議員7名 同意書:評議員7名	<決議の省略> ① 横市デイサービスセンターの休止について	可決

令和5年第2回 令和5年3月16日 評議員7名	② 令和4年度事業団会計補正予算（第2号）について ③ 令和5年度事業団経営方針及び事業計画について ④ 令和5年度事業団会計予算について	可決 可決 可決
-------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	----------------

(4) 内部監事監査に関すること

令和4年5月26日（木）に当法人の監事による令和3年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

(5) 職員配置状況（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

雇用区分	本部	清風園	横浜市デイ	望峰園	白寿園	ゆう	創生館	庄内デイ	サテ西岳	包括	合計	割合 % （前年度）
第1号職員	1	18	2	10	31	4	7	3	0	5	81	44.2% (43.1%)
第2号職員	1	5	1	3	21	1	2	2	0	0	36	19.6% (16.5%)
第3号職員	0	2	0	3	0	0	1	0	0	0	6	3.2% (4.3%)
第4号職員	1	2	1	9	6	0	1	3	1	3	27	14.7% (18.1%)
第5号職員	0	8	0	1	3	0	1	1	1	0	15	8.1% (14.3%)
第6号職員	0	6	1	1	5	0	1	3	1	0	18	9.8% (3.7%)
合計	3	41	5	27	66	5	13	12	3	8	183	100%

2 本部事務局の実施状況

事務局は業務が円滑に運営できるように次のことを行った。

(1) 事業団の諸規程を現状に即したものに改正した。

<改正、制定及び廃止した規程、規則及び要綱>

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員就業規則」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団給与規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団経理規程」の改正

(2) 職員の処遇改善に努め事業団運営と管理が円滑にできるよう努めた。

(3) 事業団の計画的かつ効率的な執行を図るため、事業団運営の最高方針及び重要施策の審議並びに各事業所間相互の最終的な総合調整を行うために毎月经営会議を行った。

(4) 経営会議の円滑かつ適正な運営を図るため、事前に調査又は検討を行い経営会議に付議すべき事案を定めるとともに、各事業所相互の意思疎通を図るための意見交換及び情報交換を行うため毎月運営会議を行った。

(5) 福祉関係団体等が実施する研修会及び他の施設等が実施する研修に積極的に職員を参加させるとともに施設においても自主研修を実施した。

(6) 職員の定期人事異動を行った。4/1

(7) 職員の定期昇給を行った。4/1

- (8) 令和4年度介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算計画書及び介護職員処遇改善支援補助金計画書を宮崎県及び都城市へ提出した。4/15
- (9) ユースエール（更新）認定申請 4/26
- (10) 障害者雇用調整金の申告申請を高齢・障害・求職者雇用支援機構へ行った。4/22
- (11) 飯田税理士顧問による決算書確認。5/18
- (12) 令和4年度新規高卒求人受理説明会・名刺交換会に参加した。5/20
- (13) 令和3年度事業団会計監事監査を行った。5/26
- (14) えるぼし認定基準更新申請を行った。5/26
- (15) 労働保険料年度更新申告を行った。6/15
- (16) 令和4年度6・1調査を電子申請により提出した。6/21
- (17) 財務諸表等電子開示システムによる「現況報告書」・「決算書」・「社会福祉充実残額算定シート」を届け出た。6/28
- (18) 福祉医療機構へ「事業報告書」を提出した。6/31
- (19) 労働条件等を整備するための自主点検の実施（36協定の報告）をした。7/5
- (20) 県福祉保健部主催の社会福祉法人の経理事務研修会に Web 参加した。7/6
- (21) 令和4年度応募前ジュニアワークフェアに参加した。7/13
- (22) 県立都城農業高等学校高校内進路ガイダンスに出席した。7/22
- (23) 令和3年度介護職員処遇改善加算及び介護職員等特定処遇改善加算実績報告書を宮崎県及び都城市へ提出した。7/27
- (24) 都城税務署へ公益法人等損益計算書等を提出した。7/27
- (25) 社会保険の適用範囲の拡大について各事業所にて対象者に説明を行った。  
（清風園 8/24、創生館 8/31、庄内デイ 9/1、望峰園 9/5 白寿園 9/9）
- (26) 令和4年度介護職員等ベースアップ等支援加算申請書を提出した。8/29
- (27) 令和4年度中途退職辞令交付を行った。8/31
- (28) 令和4年度中途入社辞令交付を行った。9/1
- (29) 令和4年度職員採用試験周知を開始した。7/4～9/14  
申込期間（高校生）9/5～9/15、採用試験 9/17、合格発表（高校生 9/30）
- (30) 令和4年度中途退職辞令交付を行った。9/30
- (31) 令和4年度中途入社辞令交付を行った。10/1
- (32) 令和4年度都城障害者ふれあい面接会に参加した。10/14
- (33) 令和4年度介護の日「介護就職デー」に参加した。11/8
- (34) 労働基準監督署に職員就業規則変更届を提出した。11/30
- (35) 令和4年度中途退職辞令交付を行った。11/30
- (36) 全職員に対し職員勤務評定を行った。12/1
- (37) 令和4年度福祉のお仕事就職フェアにオンラインによる説明を行った。12/6
- (38) 令和4年度都城市人権啓発推進大会に出席した。12/11
- (39) 県福祉保健部主催の「福祉サービス第三者評価の受審に関する研修会」に Web 研修に参加した。12/13

- (40) 全職員から自己申告書を提出させ意向等を伺った。1/13
- (41) 障害者雇用納付金関係業務について現地調査を受審した。1/17
- (42) 介護職員処遇改善支援補助金の実績報告書を電子申請により提出した。1/30
- (43) 令和4年度中途退職辞令交付を行った。1/31
- (44) 令和4年度都城圏域就職説明会に参加した。2/10
- (45) 令和4年度職員内部登用試験を行った。

周知 1/26～2/15、申込期間 2/6～2/15、試験 2/18、合格発表 3/3

- (46) 令和4年度中途退職辞令交付を行った。2/28
- (47) 令和5年みやざき春の就職応援フェアに参加した。3/3
- (48) 定年退職辞令交付・退職辞令交付を行った。3/31
- (49) 横市デイサービスセンターの閉所式を行った。3/31

### 3 新型コロナウイルス感染症関連

#### (1) 新型コロナウイルス感染症の発生について

ア	養護老人ホーム清風園	職員 10 名罹患
イ	横市デイサービスセンター	職員 1 名罹患・利用者 1 名
ウ	養護老人ホーム望峰園	職員 12 名罹患
エ	特別養護老人ホーム白寿園	職員 38 名罹患・入居者 37 名罹患 (ショート 19 名)
オ	庄内デイサービスセンター	職員 3 名罹患・利用者 8 名
カ	ケアプランサービスゆう	職員 1 名罹患
キ	小規模多機能型居宅介護創生館	職員 5 名罹患・利用者 6 名罹患
ク	地域包括支援センター	職員 2 名罹患
ケ	本部事務局	職員 0 名罹患
	令和4年度 計	職員 72 名罹患・利用者 52 名罹患

#### (2) 休業等について

- ア 特別養護老人ホーム白寿園では、1年間の約3分の1程度の121日間、ゾーニング対応を実施した。
- イ 短期入所生活介護白寿園では、コロナ感染防止対策として4月・5月・9月の3ヶ月受け入れ中止とした。
- ウ 横市デイサービスセンターでは、2回6日間の休業を行った。
- エ 庄内デイサービスセンターでは、6回21日間の休業を行った。
- オ 創生館・・・休業はせず提供するサービスの縮小や変更により対応した。

#### (3) 法人の対応

- ア 陽性となった職員は、特別休暇を付与するとともに、家族が罹患し職員が濃厚接触者となった場合でも、特別休暇を付与した。
- イ 職員が2名陽性となったことに対して理事長から、更なる予防対策の徹底継続のお願い文書が、令和4年4月1日付で「コロナ感染予防対策の再徹底について(お願い)」発出された。
- ウ 令和4年6月6日から医療警報への移行に伴い理事長より「感染予防対策につい

て（お願い）」文書が発出された。

エ 利用者又は職員が陽性となり、保健所の指示でゾーニングを行いその期間中防護服を着用し利用者と接触した職員に対し、「危険手当」として日額 3,000 円を支給し、また、防止対策としてゾーニングを実施し防護服を着用しサービスを提供した職員に対し「感染予防対策手当」として日額 500 円を支給決定した。

オ 宮崎県より介護保険事業所に対し抗原検査キットの配布が実施され、週に 1 回～3 回程度の検査を実施した。

カ 県は、令和 4 年 7 月 6 日から「(赤) 感染急増圏域」へ、また、8 月 4 日から県全域を「BA.5 対策強化地域」に指定し、県民や事業者への行動要請を実施。

キ 7 月 23 日に職員 1 名と利用者 2 名陽性と判明した時点で事業団ホームページにて公表した。

ク 令和 4 年度介護事業所等へのサービス提供体制確保事業費補助金について、4 月～6 月分を 8 月 9 日に申請した。

ケ 令和 4 年度介護事業所等へのサービス提供体制確保事業費補助金について、7 月～9 月分を 11 月 1 日に申請した。

コ 厚生労働省はコロナ患者に対する「療養解除期間」を改訂し 9 月 7 日から「高齢者等ハイリスク者との接触や感染リスクの高い場所の利用・会食などを避ける。」ように求め、適用開始したが、事業団では今まで通りの取り扱いを継続することに決定した。

サ 県は、令和 4 年 12 月 27 日から「医療非常事態宣言」とし令和 5 年 2 月 7 日まで継続した。

シ 令和 5 年 2 月 21 日に事業団感染委員会を開催し「白寿園におけるクラスター時の対応の共有とその時に見えてきた課題の協議」を行った。

#### 4 補助金関連

(1) 令和 4 年度介護事業所等へのサービス提供体制確保事業費補助金

14,471,000 円（うち令和 5 年度へ繰り越された額 10,002,000 円（未確定））

ア 養護老人ホーム清風園

対象期間：令和 4 年 4 月 1 日～4 月 5 日の期間

交付決定額：294,000 円

費目：コロナ危険手当 234,000 円

保健衛生費 60,000 円

イ 特別養護老人ホーム白寿園

対象期間：令和 4 年 4 月 14 日～4 月 23 日の期間

交付決定額：1,171,000 円

費目：コロナ危険手当 914,000 円

保健衛生費 170,000 円

消耗品費 30,000 円

手数料 57,000 円

ウ 特別養護老人ホーム白寿園

対象期間 : 令和4年5月13日～5月23日の期間 1,900,000円  
交付決定額 : 729,000円 (介護老人福祉施設の上限に達したため打ち切り)  
費目 : コロナ危険手当 587,000円  
保健衛生費 200,000円  
消耗品費 17,000円  
手数料 30,000円

エ 小規模多機能型居宅介護創生館

対象期間 : 令和4年4月17日～4月26日の期間  
交付決定額 : 181,000円  
費目 : コロナ危険手当及び時間外勤務手当 129,000円  
保健衛生費 52,000円

カ 養護老人ホーム清風園

対象期間 : 令和4年8月13日～8月18日の期間  
交付決定額 : 261,000円  
費目 : コロナ危険手当 192,000円  
保健衛生費 8,000円  
消耗品費 61,000円

キ 養護老人ホーム望峰園

対象期間 : 令和4年8月5日～8月15日の期間  
交付決定額 : 444,000円  
費目 : コロナ危険手当 181,000円  
保健衛生費 114,000円  
消耗品費 149,000円

ク 小規模多機能型居宅介護 創生館

対象期間 : 令和4年8月8日～8月13日の期間 475,000円  
交付決定額 : 294,000円 (小規模多機能型居宅介護の上限に達したため打ち切り)  
費目 : コロナ危険手当及び時間外勤務手当 116,000円  
ホテル宿泊代 114,000円  
保健衛生費 76,000円

ケ 特別養護老人ホーム白寿園

対象期間 : 令和4年8月10日～9月13日の期間  
交付決定額 : 1,095,000円  
(介護老人福祉施設の上限額を超えたため国と協議し交付決定)  
費目 : コロナ危険手当及び時間外勤務手当 581,000円  
保健衛生費 184,000円  
入所者施設内療養 330,000円

コ 短期入所生活介護 庄内の里

対象期間 : 令和4年7月23日～8月9日の期間

交付決定額 : 4,675,000円 (5/12に交付決定通知が届き令和4年度に未計上)  
(介護老人福祉施設の上限額を超えているため国と協議し交付決定)

費目	コロナ危険手当及び時間外勤務手当	593,000円
	保健衛生費	276,000円
	施設内消毒清掃	200,000円
	入所者施設内療養(16名)	2,940,000円
	ホテル宿泊代	66,000円
	各事業所から派遣手当等	100,000円
	確認中	500,000円

サ 特別養護老人ホーム白寿園

対象期間 : 令和5年1月12日～2月2日の期間

申請予定額 : 5,327,000円 (これから申請となるため令和4年度に未計上)  
(介護老人福祉施設の上限額を超えているため国と協議となる)

費目	コロナ危険手当及び時間外勤務手当等	1,365,000円
	保健衛生費	410,000円
	手数料	357,000円
	ホテル宿泊代	65,000円
	入所者施設内療養	3,130,000円

(2) 新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金 957,268円

ア 養護老人ホーム清風園

対象期間 : 令和4年7月～9月

対象人数 : 4名

助成額 : 170,620円

イ 横市デイサービスセンター

対象期間 : 令和4年7月～9月

対象人数 : 1名

助成額 : 50,820円

ウ 養護老人ホーム望峰園

対象期間 : 令和4年4月～6月、7月～9月、10月～11月、12月～3月

対象人数 : 2名                      3名                      1名                      1名

助成額 : 93,576円                      103,848円                      41,775円                      66,840円

エ 特別養護老人ホーム白寿園

対象期間 : 令和4年4月～6月、12月～3月

対象人数 : 5名                      1名

助成額 : 225,000円                      50,130円

オ 小規模多機能型居宅介護 創生館

対象期間 : 令和4年4月～6月、10月～11月、12月～3月  
対象人数 : 1名 1名 1名  
助成額 : 9,000円 8,355円 33,420円

カ 庄内デイサービスセンター

対象期間 : 令和4年4月～6月、7月～9月  
対象人数 : 1名 1名  
助成額 : 18,000円 27,000円

キ 地域包括支援センター

対象期間 : 令和4年4月～6月、7月～9月  
対象人数 : 1名 1名  
助成額 : 31,884円 27,000円

(3) 宮崎県医療・福祉分野における物価高騰対策緊急支援金 3,455,000円

養護老人ホーム清風園 1,050,000円 (70名×@15,000)  
養護老人ホーム望峰園 750,000円 (50名×@15,000)  
特別養護老人ホーム白寿園 750,000円 (50名×@15,000)  
短期入所生活介護白寿園 120,000円 (8名×@15,000)  
短期入所生活介護庄内の里 285,000円 (19名×@15,000)  
庄内デイサービスセンター 150,000円  
横市デイサービスセンター 150,000円  
ケアプランサービスゆう 50,000円  
小規模多機能型居宅介護創生館 150,000円

(4) 令和4年度宮崎県介護ロボット導入支援事業費補助金 669,000円

補助事業所 : 養護老人ホーム清風園  
購入備品 : 見守りコミュニケーション眠りスキャン (Wi-Fi環境整備工事)  
総事業費 : 2,420,000円 (うち補助金額 669,000円)  
自己資金 : 1,751,000円

(5) 介護職員等処遇改善支援補助金 (令和4年2月～9月) 3,906,117円

養護老人ホーム清風園 705,448円  
養護老人ホーム望峰園 133,718円  
特別養護老人ホーム白寿園 2,279,027円  
庄内デイサービスセンター 270,157円  
横市デイサービスセンター 110,599円  
小規模多機能型居宅介護創生館 407,168円

※令和4年10月からは介護職員等ベースアップ等処遇改善支援加算へ移行

## 1 事業概要

入居者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように努め、入居者の人格及び意思を尊重し、一人ひとりのニーズに応じた処遇計画を策定し、その計画に基づき自立のために必要な相談および支援を行った。

また、入居者が要介護状態になった場合でも適切な介護サービスを提供し、安心・安全な日常生活を営めるよう努めた。

そして、地域の関係団体等と連携を図り、地域における住民福祉のセンター的役割を果たせるよう施設機能の地域社会貢献に努めた。

### (1) 生活相談・支援

ア 入居者の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、入居者および家族に対して適切な相談・助言を行うとともに必要な支援を行った。

イ 入居者がお互いに労わり合い、思いやりのある人間関係のもとに、楽しく充実した生活を送れるよう支援した。

ウ 「自分で出来る事は自分でする」ことを生活の基本に、入居者の適性に応じたクラブ・行事等への参加を促し、融和を図りながら生き甲斐づくりの活動支援を行った。

### (2) 健康管理

ア 毎朝、ラジオ体操・棒体操を実施し、レクリエーション・スカットボール等を定期的実施することにより健康の維持増進に努めた。

イ 週1回の内科嘱託医と月1回の精神科医の回診により、疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、定期的に体重・血圧測定を行い、年2回の定期健康診断を実施した。

ウ 新型コロナウイルス感染症発生防止の為、県、市の要請及び生活圏域の感染状況により面会、外出を制限した。

また、施設の実情に応じた感染症対策を迅速かつ適切に講じ利用者が安心して生活できる環境を支援した。

### (3) 入居者の処遇

ア 入居者の身体状況・精神状況・社会環境を把握し、本人や家族のニーズに対応できる処遇計画を策定し、実践・評価・改善を図り自立支援に向けた処遇に努めた。

イ ケアプランに基づき、必要に応じて、適切かつ円滑な介護サービスが提供できるよう努めた。

ウ 給食は、嗜好調査や給食検討会をもとに、入居者の嗜好と栄養のバランスに配慮した献立を作成するとともに、安全で季節感のある食材の確保を心掛け、より良い食事の提供に努めた。

### (4) 地域社会との交流

ア 地域福祉のセンター的役割を果たすため、横市地区まちづくり協議会等への参加に努めた。

(5) 職員の資質向上

ア 施設内・施設外研修を計画的に実施し、職種別研修会・講習会等へ積極的に参加した。

イ 朝礼・職員会議・事業所会議によって職種間の意思統一と共通理解に努めた。

(6) 防災・防犯対策

ア 緊急有事の際には、入居者の安全かつ迅速な避難救出を第一として、防災教育ならびに避難誘導訓練の実施、消防防災設備の点検、消火器の位置確認及び操作訓練を計画的に実施した。

イ 消防署の協力を得て総合防災訓練を実施し、自衛消防隊の円滑な活動ができるように努めた。

(7) 施設・環境整備

ア 空調設備の老朽化に伴い、計画的に中央集中管理方式から個別空調方式に更新するため、第五期（最終年度）は管理棟、交流センター等を施工した。また、宮崎県介護ロボット導入支援事業により施設内 WIFI 環境工事と眠りスキャンを導入した。

イ 居室清掃をはじめ、業者や職員により園庭や樹木の整備と美化を図り、生活しやすい屋内外の環境づくりに努めた。

2 事業実施状況

毎週火曜日 瀬之口 Dr 診察（内科） 毎月第4月曜日 森 Dr 診察（精神科）

- 4月 4日 散髪
- 6日 書道（毎月）
- 8日 県南ブロック養護老人ホーム 施設長・相談員会議（高崎）
- 11日 ゴキブリ駆除（ダスキン）
- 12日 事業所会議（毎月） 検便（調理職毎月、処遇職員隔月）
- 13日 買い物日（毎月2回） 墓地清掃（毎月）
- 14日 誕生会（毎月第2木曜日）
- 17日 生け花（毎月）
- 19日 運営会議（毎月）、感染委員会（コロナ感染状況により適宜）  
コロナ感染症まん延防止の為施設内ゾーニング開始～20日迄
- 20日 スカットボール（毎月）
- 21日 喫茶コーナー（毎月）、施設内研修（年6回）
- 22日 利用者機能訓練（毎月）利用者との話し合い（毎月）  
園内除草（シニア元気クラブ）
- 23日 カレンダー作製（毎月）
- 25日 県・医療緊急警報発令
- 26日 経営会議（毎月）
- 27日 エレベータ点検（毎月）栄養管理委員会（毎月）
- 30日 利用者との話し合い（毎月）

※レクリエーションはコロナ感染状況に応じて講師・職員で対応する。

- 5月 9日 園内除草（シニア元気クラブ）
- 20日 園内除草（シニア元気クラブ）

- 5月 23日 園内剪定（島田造園）
- 31日 JAプロパンガス漏れ感知器交換
  
- 6月 1日 横市地区まちづくり協議会 総会
- 3日 メンタルヘルス研修
- 13日 横市地区まちづくり協議会 健康福祉部会
- 20日 県・医療警報終了 感染委員会（コロナ）  
コロナ感染症まん延防止の為施設内ゾーニング開始～21日迄
- 22日 洗濯干し場プレハブ設置工事
- 23日 施設内研修（食中毒まん延防止）
- 25日 昼食選択食 園内除草（シニア元気クラブ）
- 27日 害虫駆除（ダスキン）
- 30日 参議院選挙期日前投票8名
  
- 7月 1日 九南空調設備清掃
- 11日 職員・入居者4回目コロナワクチン接種23日迄
- 12日 県・医療緊急警報発令
- 21日 清風園お楽しみ会（夏祭り代替え） 風呂場、浴槽床張り替え工事
- 26日 園内除草（シニア元気クラブ）
- 28日 キャリアパス研修（WEB）
  
- 8月 9日 横市地区まちづくり協議会 健康福祉部会
- 11日 県・医療非常事態宣言発令（第7波）
- 13日 感染委員会（コロナ）  
コロナ感染症まん延防止の為施設内ゾーニング開始～18日迄
- 22日 交流センター ブラインドカーテン新調工事
- 25日 コロナオンラインセミナー（WEB）
- 27日 園内除草（シニア元気クラブ）
  
- 9月 5日 横市地区まちづくり協議会 健康福祉部会
- 14日 施設内放送設備（ナースコール）新調工事
- 15日 清風園敬老会
- 22日 消防設備点検（上野消防） コロナ感染症研修（WEB）
- 24日 園内除草（シニア元気クラブ）
- 29日 きりしま支援中等部より作品贈呈
  
- 10月 3日 第5期清風園空調設備更新工事11/30迄 床ワックス（ダスキン）5日迄
- 6日 都城ロータリークラブより花苗プランター寄贈
- 12日 横市地区ふれあいまつり
- 15日 都城西高等学校清掃ボランティア
- 18日 利用者インフルエンザ予防接種
- 20日 清風園さわやかスポーツ大会
- 25日 職員インフルエンザ予防接種
- 28日 総合防災訓練（消防立会い）
- 30日 横市地区まちづくり協議会より花苗寄贈

- 1 1月 1日 県南ブロック施設長・相談員会議 介護リーダー研修  
園内剪定（島田造園） 2日迄
- 1 10日 誕生会・バーベキュー大会
- 1 12日 都城西高等学校清掃ボランティア
- 2 1日 空調フィルター清掃（九南）
- 2 4日 建築・設備点検（九南、黒岩設計）
- 2 9日 感染委員会（コロナ）  
コロナ感染症まん延防止の為施設内ゾーニング開始～12/2 日迄
- 1 2月 5日 建築設備点検（黒岩設計）
- 6日 もちつき
- 9日 県・医療緊急警報発令
- 1 12日 職員・入居者 5 回目コロナワクチン接種 14 日迄
- 1 19日 県知事選挙期日前投票 6名
- 2 6日 門松づくり
- 2 7日 県・医療非常事態宣言発令（第8波）

#### 令和5年

- 1月 1 2日 誕生会（握り寿司）
- 1 7日 県南ブロック施設長、相談員会議
- 2 4日 植木消毒追肥（島田造園）
- 2月 3日 節分
- 6日 宮崎県介護ロボット導入支援事業（WIFI 環境整備工事 10 日迄）
- 8日 人権 WEB 研修
- 1 15日 消防設備点検（上野消防設備）
- 2 2日 施設内研修（身体拘束虐待防止）
- 3月 3日 宮崎県介護ロボット導入支援事業（眠りスキャン 3 台設置）
- 4日 医療警報終了
- 5日 まちづくり協議会主催母智丘公園清掃
- 9日 横市地区まちづくり協議会 健康福祉部会
- 2 2日 都城西小学校 5 年生よりメッセージボード贈呈
- 2 3日 彼岸法要（撰護寺）

3 職員の状況

令和5年3.31現在

施設長 1(0)	嘱託医 2(2)	副施設長兼相談員 1(0)	相談員 3(0)	主任支援員 1(0)	介護支援専門員 1(0)相談員兼務
支援員兼介護員 20(8)	看護職員 3(1)	栄養士 1(0)	調理員 8(6)	事務職 2	計 42(17)

( )内は非常勤職員を再掲

4 月別入居者入退居の状況

令和5年3.31現在

	入 居			退 居			月末現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
令和4年 4月	1	1	2	0	1	1	13	57	70
5月	0	0	0	0	0	0	13	57	70
6月	1	2	3	0	3	3	13	57	70
7月	0	0	0	0	1	1	13	57	70
8月	0	1	1	0	0	0	13	57	70
9月	0	0	0	0	0	0	12	56	68
10月	0	1	1	0	1	1	12	57	69
11月	1	0	1	0	1	1	11	59	70
12月	0	0	0	0	0	1	11	59	70
令和5年 1月	0	0	0	1	0	1	11	59	70
2月	0	2	2	0	2	2	11	59	70
3月		1	1	0	1	1	11	58	69
合計	3	8	11	1	10	11	144	692	836

\*退居者の状況

\*入所者の状況

退居後の居所	病 院	4	入所前の 合 計	家庭	4
	特別養護老人ホーム	2		病院(精神)	2
	介護付有料老人ホーム	0		養護老人ホーム	0
	死亡	5		介護付有料老人ホーム	2
	自宅	0		その他	2
	その他			合 計	11
合 計		11			

5 年齢階層別調

令和5年3.31現在

	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計	平均年齢
男 性		0	5	3	1	3	1	0	0	13	78歳8月
女 性		0	5	5	15	12	9	10	1	57	87歳0月
合 計	0	0	10	8	16	15	10	10	1	70	85歳5月

6 在居期間

令和5年3.31現在

期 間	男	女	計
1年未満	3	9	12
1～5年	6	16	22
5～10年	3	19	22
10年以上	1	13	14
合 計	13	57	70

7 要介護度の状況

令和5年3.31現在

要介護度	男	女	計
自立・要支援	9	29	38
要介護1	2	4	6
要介護2	0	4	4
要介護3	3	7	10
要介護4	0	10	10
要介護5	0	2	2
合 計	14	56	70

## 養護老人ホーム望峰園の概況

### 1 事業概要

入居者の自主性を尊重して生きがいを持ち安心して生活できるように、処遇の充実及び施設環境の改善・整備に努める事を基本方針とした。支援および介護の対応を図るために次の事業を実施した。

#### (1) 生活相談・支援

ア 入居者相互の思いやりのある人間関係の形成により、穏やかに安定した生活が送れる相談支援に努めた。

イ 入居者のニーズや特性を把握して各自に応じたクラブ、行事等への参加を通して張り合いのある生活の維持に努めた。

#### (2) 健康管理

ア ラジオ体操・棒体操、園庭散歩・グラウンドゴルフ等のレクリエーションの実施にて運動機会の保持増進に努めた。嘱託医との連携による定期健康診断にて疾病の早期発見・早期治療のほか、毎月の血圧、体重測定を実施し入居者の健康管理に努めた。

イ 新型コロナウイルス感染防止対策として入居者のマスク着用、手指消毒を実施のうえ、家族への面会制限を周知して入居者ならび職員の感染防止対策に努めた。感染確認時の初動対応の徹底により入居者の感染を防止した。

#### (3) 入居者の処遇

ア 入居者の身体状況、精神状況を把握し、ニーズに対応できる処遇計画を策定し職種間の共通理解の下に適切な支援を行った。

イ 介護保険サービス利用者に対しては適切な介護サービスの提供に努めた。

ウ 嗜好と栄養面を考慮した献立によりバランスのとれた食事を提供した。さらに行事食を適宜実施して、食生活への季節感の取り組みに努めた。

エ 毎月の誕生会や季節の行事等の実施により活動的な生活を提供できるように努めた。新型コロナウイルス感染防止対策のため園外行事計画の変更に伴い、園内にてスカットボール大会等を実施して入居者の生きがい活動の実施に努めた。

#### (4) 地域社会との交流

感染防止の観点から、地域・ボランティアとの交流を控えた。

#### (5) 職員の資質向上

職員の意識及び処遇技術の向上を図るため職場内研修を実施し、事業団事例発表を行った。資格取得支援制度の活用により介護支援専門員資格取得した職員を支援するなど職員の資質向上に努めた。

#### (6) 災害発生時の避難・救出訓練

定期的な消火設備の点検を行うと共に、毎月の避難訓練と年2回の総合防災訓練を実施して、災害発生時に円滑な対処ができるように備えた。

#### (7) 施設・環境整備

居室内外の定期的な清掃の他、入居者の自発的な除草や清掃活動等によって園内外の美化整備を行った。

## 2 実施状況

令和4年

- 4月4日 内科回診(毎週月曜日)
- 4月5日 園内観桜会
- 4月7日 血圧・体重測定(毎月)、身長測定(年2回)、預金日、出張販売(毎週木曜日)  
事業所会議・安全・感染委員会(毎月)
- 4月8日 県南ブロック施設長相談員合同会議
- 4月12日 誕生会、散髪、検便(栄養課)
- 4月14日 喫茶(水ようかん、マドレーヌ)
- 4月19日 園内グランドゴルフ大会、散髪、
- 4月21日 生花クラブ(毎月)
- 4月26日 カラオケクラブ(毎月)
- 4月28日 利用者集会
- 5月3日 行事食(5/3~5/5)
- 5月6日 検便(支援課・栄養課・管理課)
- 5月8日 行事食(母の日)
- 5月10日 誕生会、血圧・体重測定、散髪
- 5月12日 事業所会議・安全委員会・感染委員会、
- 5月17日 生花クラブ
- 5月23日 床ワックス(~5月24日)
- 5月24日 利用者健康診断(5/24・25・26・27)、カラオケクラブ
- 5月31日 避難訓練、利用者集会
- 6月2日 事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 6月6日 介護研修会
- 6月7日 誕生会、散髪
- 6月9日 血圧・体重測定
- 6月14日 生花クラブ
- 6月15日 選択食(親子丼・牛丼・豚丼)
- 6月21日 輪投げゲーム大会
- 6月23日 カラオケクラブ
- 6月28日 避難訓練、利用者集会
- 6月30日 エアコンフィルター清掃
- 7月5日 血圧体重測定、散髪、誕生会
- 7月6日 事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 7月7日 屋内外清掃
- 7月12日 カラオケクラブ、検便(支援課・栄養課・管理課)
- 7月14日 望峰園夏祭り
- 7月21日 生花クラブ
- 7月23日 行事食(土用うしの日)
- 7月26日 喫茶(手作りどらやき)
- 7月28日 避難訓練、利用者集会
- 8月1日 新型コロナウイルスワクチン接種(第4回目)(8/1.8/22)
- 8月4日 血圧体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 8月5日 七夕飾りつけ
- 8月8日 盆の設え
- 8月12日 盆迎え火

- 8月13日 行事食(盆精進料理 8/13~8/15)
- 8月15日 盆送り火
- 8月16日 誕生会
- 8月22日 新型コロナウイルスワクチン接種(第4回目)
- 8月30日 避難訓練、利用者集会
- 9月1日 総合避難訓練、消防設備点検
- 9月6日 体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 9月8日 令和4年度敬老会・誕生会
- 9月13日 喫茶、散髪、検便(支援課・栄養課・管理課)
- 9月17日 散髪、カラオケクラブ
- 9月20日 生花クラブ
- 9月26日 床ワックス(~9月28日)
- 9月29日 利用者集会、マットレス洗浄乾燥(9/29・10/6・20・27)
- 10月3日 介護研修会
- 10月4日 体重・身長測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 10月6日 誕生会
- 10月11日 散髪、検便(栄養課)
- 10月12日 選択食(麺)
- 10月13日 運動会組分け
- 10月18日 生花クラブ
- 10月20日 令和4年度望峰園健康運動会
- 10月24日 インフルエンザワクチン接種
- 10月25日 カラオケクラブ
- 10月27日 避難訓練、利用者集会
- 11月1日 体重測定、県南ブロック施設長相談員合同会議
- 11月8日 誕生会、散髪、検便(支援課・栄養課・管理課)
- 11月9日 事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 11月15日 園内グランドゴルフ大会
- 11月22日 生花クラブ
- 11月24日 カラオケクラブ 利用者健康診断(11/24・25・29)  
新型コロナウイルスワクチン接種(第5回目)(11/24, 25, 28, 29、12/26)
- 11月29日 避難訓練、利用者集会
- 12月1日 体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 12月2日 検便(栄養課)
- 12月5日 介護研修会
- 12月6日 忘年会・誕生会
- 12月8日 大掃除
- 12月13日 散髪
- 12月15日 生花クラブ
- 12月20日 もちつき
- 12月22日 カラオケクラブ
- 12月23日 喫茶、冬物衣料支給
- 12月28日 避難訓練、利用者集会
- 令和5年
- 1月1日 行事食(おせち料理~1/3)
- 1月5日 誕生会、事業所会議・安全委員会・感染委員会

- 1月6日 事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 1月7日 行事食(七草粥)
- 1月10日 体重測定、散髪
- 1月12日 初詣
- 1月16日 検便(支援課・栄養課・管理課)
- 1月17日 県南ブロック施設長相談員合同会議
- 1月19日 生花クラブ
- 1月24日 カラオケクラブ
- 1月26日 避難訓練、利用者集会
- 2月1日 事業所会議・安全感染委員会
- 2月2日 体重測定
- 2月3日 節分
- 2月6日 介護研修会
- 2月7日 誕生会
- 2月9日 生花クラブ、散髪
- 2月14日 喫茶(チョコレートケーキ)
- 2月15日 中郷地区地域福祉施設意見交換会
- 2月16日 カラオケクラブ
- 2月28日 避難訓練、利用者集会
- 3月2日 体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 3月3日 行事食(ひなまつり)
- 3月7日 誕生会、散髪
- 3月8日 カラオケクラブ
- 3月9日 総合防災訓練、防火設備点検
- 3月14日 事業所会議・安全委員会・感染委員会、検便(支援課・栄養課・管理課)
- 3月16日 生花クラブ
- 3月23日 彼岸法要(西本願寺動画視聴)
- 3月28日 観桜散歩
- 3月31日 利用者集会

3 職員の状況

令和5年3月31日 現在

施設長	副施設長兼 主任生活相談員	相談員	事務員	看護職員	栄養士
1	1	1	1	2	1
調理員	主任支援員	サービス 提供責任者	支援員兼 訪問介護員	嘱託医	計
5(2)	1	1	13	1(1)	28(3)

( ) は非常勤職員再掲

4 月別入所者入退所状況

区 分 月	入 所			退 所			月末現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4	1		1				11	39	50
5					1	1	11	38	49
6		1	1		1	1	11	38	49
7					1	1	11	37	48
8		1	1				11	38	49
9							11	38	49
10	1	1	2		1	1	12	38	50
11		1	1	1	1	2	11	38	49
12		1	1				11	39	50
1				1		1	11	39	50
2	1		1		1	1	11	38	49
3		1	1		1	1	11	38	49
合計	3	6	9	2	7	9			

退所後の状況 (令和4年度)

退 所 後 の 状 況	在 宅	
	医療機関	2
	他の養護老人ホーム	
	特別養護老人ホーム	2
	老人保健施設	
	死 亡	5
その他		
合 計	9	

5 年齢階層別調

令和5年3月31日 現在

年齢	64～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	計	平均年齢
性別	69歳	74歳	79歳	84歳	89歳	94歳	以上		
男		2	4	1	2	2		11	81歳6月
女		1	7	7	12	8	4	39	87歳3月
計		3	11	8	14	10	4	50	86歳

6 在所期間

令和5年3月31日 現在

期 間	男	女	計
1年未満	3	6	9
1～5年	4	15	19
5～10年	1	11	12
10～20年	3	6	9
20年以上			
合 計	11	38	49

7 要介護度の状況

令和5年3月31日 現在

要介護度	男	女	計
要介護 1	1	2	3
要介護 2			
要介護 3		3	3
要介護 4	1	2	3
要介護 5		1	1
合 計	2	8	10

# 特別養護老人ホーム白寿園の概要

## 1 事業概要

介護保険制度の目的は、施設の入居者、在宅の利用者の区別なく、全ての入居者に質の高いサービスを安定的に提供することであることを全職員が認識し、介護保険法に基づく「介護老人福祉施設」として介護サービスの向上に努めた。

入居者にとっては自宅に変わる生活の場であるため、生活空間を大切とした個室ユニットケアを推進し、毎日の生活が安心して、明るい気持ちで過ごせるよう、ケアプランに基づいた適切で真心のこもった介護を行うと共に、残存機能の維持を図ることに力を注いだ。

### (1) 施設・環境の整備

ア 入居者が安全・安心して生活ができるように、園内外の環境美化、居室・共有スペース等の消毒、清掃に努めた。

### (2) 生活指導

ア 日々の生活を充実させるため、昼の体操、音楽リハビリ、機能回復訓練を実施可能な状況下で励行し、入居者の心身機能の維持向上に努めた。

イ 新聞購読やテレビ鑑賞を楽しんでもらい、ニュースや社会に動き等の情報にふれ、社会性のある生活を送られるよう努めた。また昨年同様、園内の雰囲気をややかにするため、有線放送による軽音楽等を流した。

### (3) 健康管理

ア 入居者の高齢化、重度化のなか、常に一人ひとりの健康状態を注意し、嘱託医・看護師・管理栄養士・介護職員の連携を図りながら、疾病の早期発見、予防等健康保持に努めた。

イ ノロウイルス・インフルエンザをはじめ新型コロナウイルスの感染症予防に全職員一致協力し取り組んだ。新型コロナウイルスの感染予防対策として、集団行事の中止や家族の面会制限等を行い集団感染予防対策に努めながら、各ユニットで個別レク、WEB面会を行い入居者の身体面・精神面の低下予防に努めた。

### (4) 入居者の介護

ア 入居者が自宅における生活と入居後生活が連続したものとなるよう家庭訪問等で再アセスメント、ケアプランを見直し、より快適な生活ができるように努めた。

イ 給食については、栄養マネジメントを実施し、常に栄養の確保に留意することは勿論、入居者の健康状態や好みに合わせて調理し、適温・適時に配膳し、行事食も適宜配慮して食生活の面から生きがいを高められるよう努めた。

ウ 歯科医師との連携をとりながら口腔ケアを実施し、口腔内の清潔・機能維持に努めた。

エ 入居者の自然な動きに合わせた“滑らせる介護”、入居者の安全な移乗を可能とした“抱えない介護”の提供により入居者に負担のない介護に努めた。

オ その人に合った車椅子を提供することで快適な姿勢で過ごしていただけるように努めた。

### (5) 地域社会との交流

ア 在宅で要介護状態の高齢者に対し、ショートステイ事業を行い、心身機能の維持並びに、介護者の身体的・精神的負担の軽減を図るよう努めた。

イ 在宅で心身の虚弱な高齢者に対し、配食サービスを行い在宅高齢者の生活援助に努めた。

### (6) 職員の資質の向上

ア 新規採用者に対して新人研修プログラムに沿った指導を行う事で基礎知識の統一に努めた。

イ 職場における腰痛予防対策として福祉用具の利用を促進し、原則として、人が人を持ち上げないための代替策として、リフトの利用や、重心の水平面内での移乗を行うスライディングシートやトランスファボードを利用し、入居者、介護者双方にとって負担のない介護に努めた。

ウ 職場におけるメンタルヘルス対策として、ストレスチェックを実施し職員のストレスの程度を把握し、職員自身のストレスへの気付きを促すとともに、働きやすい職場づくりを進め職員がメンタルヘルス不調とならないように努めた。

#### (7) 非常災害対策

ア 常に消火設備・避難設備等の点検整備に心がけ、有事に備え入居者の人命尊重を第一に、毎月避難訓練、年2回の消防署立合の総合防災訓練を実施し、防災意識の高揚と協力体制の確立に努めた。

#### (8) 地域における公益的な取り組み

ア 既存の制度や福祉サービスでは対応が困難で、緊急な対応が必要な生計困窮者に対して自立的な社会貢献活動の取り組みとして、生計困難者等の自立を援助するための相談支援活動に努めた。

#### (9) 感染予防対策

ア 新型コロナウイルス感染症対策として職員の健康観察を行うとともに検温の徹底、1ケアごとのアルコール手指消毒、短期入所者の出入り制限、県外在住者との接触、県外往来時には2週間の自宅待機、マスク着用の徹底等の対策を行い、感染症の持ち込み対策を実施した。

イ 新型コロナウイルス感染症が発生した際の対応をシミュレーションした。感染を最小限に抑えるためには初動が特に大事になってくるので、正確かつ迅速に情報を掌握し、ゾーニングや防護服の対応、関係機関との連携をとれるよう検討した。

## 2 実施状況

令和4年度は新型コロナウイルスの影響により、活動の多くを制限せざるをえない状況となった。

#### (1) 実施した行事

- ア 月例
- 誕生会 (毎月 各ユニット)
  - 理髪の日 (実施可能な状況下の時)
  - 避難訓練 (毎月)
  - 課長会議 (毎月 第3火曜日)
  - 経営会議 (毎月 第4火曜日)
  - リーダー会 (毎月)
  - ユニットケア推進委員会 (毎月)  
(抱えない介護・水分・排泄・認知症・歩行・園芸・レク・散髪)
  - 新規採用者職場内研修 (2日間) 職員採用時
  - 事故発生防止委員会感染症・食中毒委員会、身体拘束廃止委員会  
褥瘡対策委員会、医療的ケア対策推進委員会、衛生委員会 (毎月随時)
  - インフルエンザワクチン予防接種 (11月)
  - 腰椎検査 (3月) 夜勤者検診 (7月)
  - ユニット別誕生会、レクレーション、体操

#### イ 行事

##### 令和4年

- 4月6日 職員検便 (毎月：調理、隔月：直接処遇職員)
- 6月30日 庄内の里 ホットケーキ
- 7月21日 防災避難訓練
- 9月20日 総合避難訓練

- 10月18日　　さんま焼き
- 10月27日　　さくらユニット郊外レク
- 10月28日　　すずらんユニット郊外レク
- 11月29日　　県指導監査
- 12月26日　　餅つき

ウ 研修

- 6月7日　　老サ協リモート研修
- 6月30日　　県南ブロック栄養士研修
- 7月1、2日　　新人研修5名
- 7月7日　　排泄ケア研修
- 10月18日　　ケアマネジャー更新研修（2名複数回）
- 11月9日　　管理者研修
- 11月21、22日　　新人研修1名

エ ボランティア

- 10月15日　　都城西高校ボラティア（13名）
- 10月28日　　都城農業高校園芸ボランティア

オ 実習

- 6月7日　　コア学園実習2名
- 7月4日　　都城高校実習1名
- 10月18日　　コア学園実習生2名
- 10月26日　　都城高校2名
- 11月22日　　都城高校実習3名
- 11月28日　　看護学校実習

(2) 新型コロナウイルス対策として計画したが実施できなかった行事

- ア 月例　　音楽リハ　　（第2・4月曜日）
- 個別リハ　　（毎週水曜日）
- 事業団介護相談員相談（毎月第3木曜日）
- 喫茶コーナー開設　（4月～11月）　毎月ボランティア協力8名程

イ 行事

令和4年

- 1月　　初詣（複数回）
- 4月　　花まつり
- 5月　　焼肉会（各ユニット）、庄内地区意見交換会、庄内地区社協総会
- 8月　　ソーメン流し（各ユニット）
- 花火
- 9月　　敬老祭
- 9月　　サンマ焼き（各ユニット）
- 10月　　庄内地区スポレク大会
- 庄内地区介護者の集い
- 運動会
- 11月　　庄内ふるさと祭り、コア学園へ講師（介護職員）派遣
- 12月　　庄内川一周駅伝参加、そば打ち（複数回）

ウ 研修

令和4年

- 5月　　福祉の基礎知識習得
- 6月　　排泄ケア
- 宮崎県衛生管理者等交流会
- 抱えない介護勉強会（年4回、講師専任作業療法士）
- 7月　　レジオネラ属菌汚染防止対策講演会

- キャリアパス中堅
  - キャリアパス初任者
- 8月
  - みやざき安心セーフティーネット事業・相談員
  - ユニットケア～24H シート
  - キャリアパスチームリーダー
  - 県南ブロック研修会
- 9月
  - 介護福祉士会九州大会
  - 都城市社会福祉施設等連絡会部会合同意見交換会
- 10月
  - 県南ブロックミニバレー大会
  - 腰痛・転倒災害防止
- 11月
  - キャリアアップ初級・中級
  - 県南ブロック相談員
  - ビジネス文書
  - 県南ブロック特養会
- 令和5年
  - 2月
    - 宮崎県老人サービス研究大会（2名）

エ ボランティア

- 7月
  - 願心寺婦人部ボランティア
  - 西区六月灯踊りボランティア
- 10月
  - 農業高校ボランティア（40名）

オ 実習

- 8月
  - 農業高校インターシップ
  - コアカレッジ企業巡見
- 9月
  - 小林秀峰高校（1名）

カ 新型コロナウイルス感染対応

新型コロナウイルス感染に関する感染対策委員会

4月2日、4月14日、5月13日、5月23日、6月6日、6月22日、7月23日、8月12日、8月31日、9月2日、9月28日、11月12日、11月14日、12月5日

感染に関するゾーニング対策実施（4月11日～4月23日（13日）、5月13日～5月23日（11日）、6月20日～6月22日（3日）、7月23日～8月22日（31日）、8月26日～8月30日（5日）、9月1日～9月2日（2日）、9月8日～9月13日（6日）、11月12日～11月16日（5日）、12月2日～12月6日（5日）、12月31日～1月1日（2日）、1月4日～2月3日（30日）計113日

### 3 職員の状況

R5. 3. 31現在

施設長	副施設長	相談員・ケアマネ	事務職	支援課長	介護職	看護師	清掃・相談補助	栄養士	調理員	嘱託医	計
1	0	2	2	1	46 (9)	5	0	1	8 (5)	2 (2)	68 (13)

( ) は非常勤職員・嘱託契約数を再掲

### 4 月別入居者入退状況

区分	入 居			退 居			月末現在			在所日数	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	4年度	3年度
4			0		1	1	8	40	48	1446	1491
5			0			0	8	40	48	1488	1525
6		2	2			0	8	42	50	1492	1497
7			0	1		1	8	42	50	1550	1543
8			0		1	1	8	41	49	1526	1544
9	1	1	2		2	2	9	40	49	1485	1485
10		1	1		4	4	9	37	46	1501	1540
11	1	3	4			0	10	40	50	1485	1489
12		1	1		2	2	10	39	49	1529	1538
1			0		2	2	9	38	47	1480	1541
2		3	3		1	1	9	40	49	1344	1367
3		1	1			0	9	41	50	1543	1517
合計	2	12	14	1	13	14	105	480	585	17869	18077

### 5 在所期間

R5. 3. 31現在

期間	1年未満	1 ～ 5年	5 ～ 10年	10年以上	平均在所期間
男	2	4	1	2	65.9ヶ月
女	11	24	5	1	34.5ヵ月
計	13	28	6	3	40.2ヵ月

### 6 年齢階層別調

R5. 3. 31現在

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	年齢
男			1	1	2	4	1		最小年齢 75歳9ヶ月
女			2	5	13	6	8	7	最大年齢 105歳0ヶ月
計	0	0	3	6	15	10	9	7	平均年齢 90.7歳

### 7 要介護状況

R5. 3. 31現在

期間	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均
男	0	0	3	2	4	4.1
女	0	0	8	17	16	4.2
計	0	0	11	19	20	4.2



## 居宅介護支援業所 ケアプランサービスゆうの概況

### 1 事業の概要

ケアプランサービスゆうでは介護支援専門（ケアマネージャー）4名を配置し在宅での介護支援サービス全過程において自立した質の高い生活が送れるように介護サービス計画書（ケアプラン）を作成しました。

その中で要介護者が最も効率的に保健 医療 福祉のサービスを利用できるよう他職種、医療機関とも連携を深めることに努めました。

また、ご家族の悩みを真摯に受け止め共有し安心した在宅生活を支援できるようサポート・助言を行いました。

コロナウイルス感染拡大に伴い、感染防止を行いながら相談や計画作成、利用調整を要介護者やその家族、各事業所と連携を取り、適切なサービスを利用できるように支援を行いました。

介護支援専門員は要援護高齢者が、その人らしく住み慣れた地域で生きがいを持って生活できるよう専門職としての知識と技術を身につけるよう努めました。

### 2 主たる業務内容

#### (1) 在宅介護にかかわる総合的な相談窓口

- ・ 主として自宅へ訪問や感染状況で電話などを行い相談・助言・指導に努めました。
- ・ 各種サービス事業者、 民生委員 ならびに地域の方からの情報提供を得られるよう努めました。
- ・ 地域の社会資源を発掘・活用し地域との連携を図れるよう配慮しました。
- ・ 包括支援センターと連携を取り困難事例等の受け入れもできる体制を整えました。
- ・ 感染症や災害が発生した場合でも介護サービスが継続的に提供されるように各事業所との連携に努めました。
- ・ 利用者の人権の擁護のため、研修を行い虐待防止に努めました

#### (2) 指定居宅介護支援事業所として介護保険への取り組み

- ・ 在宅でできる限りその人らしい生活が送れるように、サービスの紹介や自立に向けたケアプランの作成・介護保険認定申請代行など円滑に行えるよう努めました。
- ・ 医療機関・サービス事業所との連携を密にし自宅での自立をめざし支援を行いました。
- ・ 利用者本人だけでなく家族の負担軽減も図れるよう信頼関係構築に努めました。

#### (3) 主任介護支援専門員を配置し介護支援専門員の知識向上に努め、特定事業所加算の取得を行いました。

- ・ 個別研修計画に沿った研修会への参加
- ・ 週1回程度の事業所内研修の実施
- ・ 24時間連絡体制を整備
- ・ 包括支援センターとの連携、包括からの困難ケースの受け入れ
- ・ 減算のないよう日常業務を実施
- ・ 他法人との合同研修会の実施
- ・ 実習生の受け入れを実施

# 令和4年度 ケアプランサービスゆう 実績報告

対象月	新規	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	給付数
4月	3	10	60	37	24	14	9	154
5月	5	10	56	37	24	13	9	149
6月	5	10	63	31	26	15	7	152
7月	6	10	66	29	26	14	7	152
8月	2	10	63	29	25	14	8	149
9月	6	11	62	33	26	14	8	154
10月	9	10	69	33	31	14	9	166
11月	7	10	64	33	31	15	9	162
12月	4	9	58	36	27	15	9	154
1月	4	9	57	36	29	14	8	153
2月	3	9	59	38	29	13	7	155
3月	4	8	60	42	29	12	7	158
合計	58	116	737	414	327	167	97	1858

令和 4年度 居宅介護支援事業所 ケアプランサービスゆう 相談一覧

年月日 担当	A	B	C	D	小計	
					介護計画	新規受け入れ
令和 4年4月	35+【予防4】	35+【予防3】	34+【予防2】	38+【予防1】	142【10】	3
5月	34+【予防4】	34+【予防3】	35+【予防2】	36+【予防1】	138【10】	5
.6月	33+【予防4】	37+【予防3】	35+【予防2】	38+【予防1】	143【10】	5
7月	31+【予防4】	41+【予防3】	31+【予防2】	38+【予防1】	141【10】	6
8月	32+【予防4】	40+【予防3】	32+【予防2】	38+【予防1】	141【10】	2
9月	31+【予防5】	40+【予防3】	33+【予防2】	38+【予防1】	142【11】	6
10月	34+【予防4】	40+【予防3】	36+【予防2】	40+【予防1】	150【10】	9
11月	31+【予防4】	40+【予防3】	40+【予防2】	40+【予防1】	151【10】	7
12月	30+【予防3】	39+【予防3】	38+【予防2】	39+【予防1】	146【9】	4
令和 5年1月	31+【予防3】	36+【予防3】	34+【予防2】	39+【予防1】	139【9】	4
2月	32+【予防3】	37+【予防3】	35+【予防2】	39+【予防1】	143【9】	3
3月	33+【予防3】	40+【予防2】	36+【予防2】	38+【予防1】	146【9】	4

## 小規模多機能型居宅介護 創生館の概況

### 1 事業の概況

住み慣れた地域（自宅）で認知症や身体的に介護が必要になっても、利用者が望む生活ニーズの把握に努め、通い・訪問・宿泊のサービスを組み合わせながら、住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるようにサービス提供を実施した。

また、新型コロナウイルスの影響により地域行事への参加は十分な取り組みが出来なかったが、地域関係者や地域住民と連絡・連携をとりながら、地域との協力体制の構築やニーズ把握に努めた。

### 2 主たる取り組み内容

#### (1) 施設・環境の整備

- ・利用者との信頼関係を構築し、家庭的な環境づくりに努めた。

#### (2) 介護保険サービスへの取り組み

- ・利用者の心身の状況、希望及び置かれている環境や生活習慣を理解した上で、通い、訪問及び宿泊サービスを柔軟かつ即時的に組み合わせながら、安心して自宅や地域での生活が継続できるように努めた。
- ・利用者がこれまで培ってきた家族や地域との関係性を大事にしながら、一人一人の暮らしに合わせ、居宅サービス計画及び小規模多機能型居宅介護計画の作成に努めた。

#### (3) 健康管理

- ・一人ひとりの健康状態を注意し、看護師・介護職員等との連携を図りながら、疾病の早期発見、予防等の健康保持に努めた。
- ・かかりつけ医との連携を基本としつつ、協力医療機関との連絡・連携を図りながら、緊急時の対応に努めた。

#### (4) 地域社会との交流、関係づくり

- ・運営推進会議を年 6 回開催した。新型コロナウイルス拡大防止のため、文書での活動報告や意見交換を実施した。
- ・事業所で実施した自己評価に基づき、運営推進会議にて外部評価を行い、第三者からのご意見も参考にしながらよりよい運営へ向けて目標設定を行った。
- ・庄内地区社会福祉協議会の地域支援会議へ毎月 1 回参加し、地域の情報、課題の把握に努めた。

#### (5) 感染症・非常災害対策

- ・常に消火設備・避難設備等の点検整備を心がけ、年 2 回の避難訓練を実施

し、防災意識を高めることと、協力体制の確立に努めた。

- 令和4年度は新型コロナウイルスの感染者が4月、8月、9月、令和5年1月の計4回（利用者6名、職員5名）に発生し、感染対策を行いながら、提供するサービスの縮小（通いや泊りの制限）や変更（通いから訪問へ支援の変更など）を行いながら支援を行った。又、白寿園拠点で感染者が発生した際、情報の共有や人員の協力体制を行った。

# 令和4年度 年間計画実施状況

## 小規模多機能型居宅介護創生館

	主要事業	地域連携事業	会議等
4	新規相談対応 ケアマネジメント	第1回地域生活支援会議 ※新型コロナウイルス陽 性者発生の為欠席	職員会議 (第2木曜日) 課長会議 (第3火曜日)
5	新規相談対応 ケアマネジメント 誕生会	第1回運営推進会議開催 (書面開催)	職員会議 (第3木曜日) 課長会議 (第3火曜日)
6	新規相談対応 ケアマネジメント 誕生会		職員会議 (第3木曜日) 運営会議 (第3火曜日)
7	新規相談対応 ケアマネジメント 誕生会	第2回地域生活支援会議 参加 (7/19) 第2回運営推進会議開催 (書面開催)	職員会議 (第3木曜日) 運営会議 (第3火曜日)
8	新規相談対応 ケアマネジメント 誕生会	第3回地域生活支援会議 (8/10) ※新型コロナウイ ルス陽性者発生の為欠席	職員会議 (第3木曜日) 運営会議 (第3火曜日)
9	新規相談対応 ケアマネジメント 誕生会、敬老会	第4回地域生活支援会議 参加 (9/13)	職員会議 (第3木曜日) 運営会議 (第3火曜日)
10	新規相談対応 ケアマネジメント 誕生会	第5回地域生活支援会議参 加 (10/11) 第3回運営推進会議開催(書 面開催)	職員会議 (第3木曜日) 運営会議 (第3火曜日)
11	新規相談対応 ケアマネジメント、誕生会 郊外レクレーション(コスモス見学)	第6回地域生活支援会議 参加(11/8) 第4回運営推進会議開催 (集合開催)	職員会議 (第2木曜日) 運営会議 (第3火曜日)
12	新規相談対応 ケアマネジメント 誕生会	第7回地域生活支援会議 参加 (12/13)	職員会議 (第3木曜日) 運営会議 (第3火曜日)
1	新規相談対応 ケアマネジメント	第8回地域生活支援会議 参加 (1/10)	職員会議 (第3木曜日) 運営会議 (第3火曜日)
2	新規相談対応 ケアマネジメント 誕生会	第9回地域生活支援会議 参加 (2/13) 第5回運営推進会議開催 (書面開催)	職員会議 (第3木曜日) 運営会議 (第3火曜日)
3	新規相談対応 ケアマネジメント 誕生会	第10回地域生活支援会議 参加 (2/13) 第6回運営推進会議開催 (書面開催)	職員会議 (第3木曜日) 運営会議 (第3火曜日)
備考	施設見学、説明随時実施		外部研修 ※別紙研修実施表に基づきリ モート研修へ参加

令和4年度 小規模多機能型居宅介護 創生館 実績報告(サービズ別)

対象月	登録者数	新規登録者数	通い【延べ人数】	泊まり【延べ人数】	訪問【延べ人数】	合計【延べ人数】
4月	24	0	250	141	114	505
5月	23	2	322	140	139	601
6月	22	2	333	124	149	606
7月	23	0	380	129	179	688
8月	21	0	289	131	85	505
9月	21	3	274	129	88	491
10月	21	3	313	129	123	565
11月	24	3	385	130	196	711
12月	24	0	388	122	205	715
1月	24	0	306	132	144	582
2月	25	2	381	144	164	689
3月	26	1	422	155	235	812
合計	278	16	4043	1606	1821	7470

## 庄内デイサービスセンター、サテライト西岳の概要

### 1 事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に、入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持、ならびに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して、事業を実施した。

#### (1) 入浴

高齢者に適した湯温管理、在宅生活が維持向上できるよう利用者の心身の状況に応じて、必要な介助を行い身体の清潔保持に心がけた。

#### (2) 機能訓練・レクリエーション

利用者の心身の特性に応じて日常動作訓練、レクリエーション等を実施し、楽しみながら身体機能の維持向上ができるよう実施した。内容については、全体レクリエーションのほか、個別で実施できる個別運動カードを作成し、自主的に機能訓練を行えるようスタッフ間で協議し、提供した。

#### (3) 送迎

迎え時に検温を実施し、体調不良の早期発見に努めた。乗車前に発熱が認められる場合には利用を見合わせる判断をした。車内が密にならないよう座席の位置に配慮した。安全運転を心がけ、声かけを行い利用者の安全な乗降に努めた。

#### (4) 給食

利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れ、適切な形態の昼食を提供した。厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。また、コロナウイルス予防対策として密にならないよう利用者の座席の配慮を行い、アクリルパネルを使用し食事時の飛沫感染を防いだ。

### 2 健康管理

デイ到着後に再度測定を実施し、バイタル異常や気分不良等の訴えを確認し次第、家族やケアマネージャーに報告を行い対応を行った。県外在住者と接触のあった方の利用は1週間見合わせる判断をした。熱発や体調不良を訴え休まれた方は状況が解消した場合であっても引き続き、ご家族、ケアマネージャーと連絡を取り健康状態に留意した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため送迎車や事業所内の接触頻度が高い場所(手すり、机など)の消毒を定時に行い、事業所内の換気、利用者様同士が密にならないよう、集団での活動は避け、アクリルパネルを活用することにより飛沫感染を防いだ。

### 3 地域との交流

今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため地域との交流は中止した。

### 4 職員の資質向上

一人ひとりに合った個別ケアを提供し、自宅での生活を継続できるように生活リハビリも含めた支援を行えるように取り組み職員の技術向上を図った。また毎月の職員会議や就業前後のミーティングで情報交換ができる場を設け周知にも努めた。

### 5 具体的実施状況・利用実績

別紙参照

令和4年度 年間行事実施状況

庄内デイサービスセンター

月例行事	1 誕生会	毎 日	個別カードによる個人予防運動
	2 職員会議 職員研修		通所介護計画実行記録
3 個別援助計画作成	口腔嚥下体操		
4 屋内外清掃	ケース会議		
	5 利用予定カレンダー作成	年 間	嗜好調査、行事移行聴取
	6 スカットボール大会		
随 時	身体測定 (身長、体重)		
4月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動・郊外レク(桜・花見)		
5月	日替わりレク(脳トレ・ゲーム)・創作レク		
6月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動(七夕)・郊外レク(アジサイ)		
7月	日替わり(脳トレ、ゲーム)、創作活動(七夕)、ミニ運動会、夏祭り		
8月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動		
9月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動・敬老祭・調理レク・スカットボール大会		
10月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動・ミニ運動会・郊外レク(秋桜花見)・ミニ運動会		
11月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作レク・調理レク・郊外レク(紅葉)		
12月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動・忘年会・ビンゴ大会 クリスマスケーキ作り		
1月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)、絵馬作り、初詣・趣味活動(書初め)・新年会・日替わりレク		
2月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動・調理レク・節分		
3月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・雛飾り・創作活動・郊外レク(桜花見)、喫茶コーナー		

## 横市デイサービスセンターの概要

### 1 事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に、入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持、ならびに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して、事業を実施した。

#### (1)入浴

高齢者に適した湯温管理、浴室内での事故防止に留意し、在宅生活が維持向上できるよう利用者に声かけを行い、洗身、衣類着脱、整容等の入浴動作全般について自律支援を目標に支援が必要の方において、できるだけ可能な範囲で入浴全般の一連の動作に必要な介助を行った。

#### (2)機能訓練およびレクリエーション

利用者の特性に応じて体調管理を行い、融和を図りながら日常生活動作訓練、身体、脳を使うレクリエーション等を提供し、身体機能の維持向上を目標となるよう工夫した。内容については、密にならない範囲での団体でのレクリエーションのほか、個別に取り組める筋力維持及び低下予防につながる運動内容を提供し、自己選択自己決定できる環境を作った。なお、プログラム内容は3ヶ月おきに見直しを行った。

#### (3)送迎

送迎時にはコロナウイルス感染予防対策として利用者の検温を実施し健康観察を行い、発熱のある方は利用を見合わせ、県外在住者との接触のある方の利用は1週間見合わせるなどの対策を取った。車内が密にならないよう座席位置に配慮し、安全運転に努めた。

#### (4)給食

楽しい雰囲気と落ち着いた環境を提供して、利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れ、個人の体質に合わせた条件を基に、それぞれの要望に応える昼食を提供した。厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。また、コロナウイルス予防対策として密にならないよう利用者の座席の配慮を行い、アクリルパネルを使用し飛沫感染を防いだ。

### 2 健康管理

コロナウイルス感染予防対策として利用者の状態観察を行うとともに検温、一動作ごとのアルコール手指消毒を行い、到着後は体調安定を確認後、血圧、脈拍、体温測定を実施した。一年を通じ、水分補給用の麦茶と経口補水液を提供し、脱水症及び熱中症予防に努めた。利用中急変時、気分不良や体調悪化がみられ次第、看護師と協議をし、ご家族、ケアマネージャーに報告の上、医療機関への搬送等、迅速かつ適切な判断をした。

### 3 地域との交流

コロナウイルス感染予防対策のため、地域の方々との交流は中止し、幼稚園関係者との情報交換を行うことにより関係性を維持したが、高校生の実習はコロナ対策を徹底し受け入れた。

### 4 職員の資質向上

職員会議時に、翌月の行事内容の検討、個別に対応するための適切なケアが提供できるかを職員間で情報を共有しながら意見交換を行った。

### 5 具体的実施状況・利用実績

別紙参照

令和4年度 年間行事実施状況

横浜市デイサービスセンター

月 例 行 事	1 誕生会	毎 日	下肢筋力低下予防運動
	2 職員会議 職員研修		通所介護計画実行記録
	3 個別援助計画作成		口腔嚥下体操
	4 屋内外清掃		個別運動プログラム
	5 季節の壁画作成	年 間	避難訓練(9月、3月)
	6 利用予定カレンダー作成		嗜好調査(5月)
随 時	個別運動プログラム 体重測定 新型コロナウイルス感染予防対策にてボランティアの行け入れ中止		
4月	季節の壁画作成(さくら)卓上ピンポン・茶話会・棒体操 ※コロナ感染対策にて郊外レクは中止		
5月	ダンベル体操・季節の壁画作成(こいのぼり)・スカットボール・輪投げ・カレンダー作成		
6月	棒体操・脳トレ・季節の壁画作成(あじさい)・ゲーム(輪投げ)・カレンダー作成・歌体操		
7月	七夕飾り作成・脳トレ・季節の壁画作成(花火)・郊外レクを不定期開催		
8月	季節の壁画作成(ひまわり)・カレンダー作成・脳トレ・夏祭り		
9月	敬老の日・棒体操・季節の壁画作成(十五夜)・脳トレ・カレンダー作成		
10月	季節の壁画作成(コスモス)・ドンパン体操・タオル体操・カレンダー作成		
11月	季節の壁画作成(いちょう、もみじ)・脳トレ・スカットボール・郊外レクを不定期開催		
12月	クリスマス飾り作成・カレンダー作成・忘年会・郊外レクを不定期開催		
1月	初詣・書初め退会・福笑い・ズンドコ体操		
2月	スカットボール・ドンパン体操・北国の春体操・郊外レクを不定期開催		
3月	タオル体操・脳トレ・棒体操・お別れ会・郊外レクを不定期開催		

令和4年度 事業別利用人員実績一覧

庄内デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険 通所事業	月間利用延人員	293	467	518	442	329	594	485	429	532	471	546	643	5,749	479
	1日平均利用人員	15.4	21.2	23.5	21.0	17.3	27.0	23.1	20.4	26.6	23.6	27.3	28.0		22.9
介護予防 総合事業	月間利用延人員	66	78	84	64	33	65	67	53	55	51	59	57	732	61
	1日平均利用人員	3.5	3.5	3.8	3.0	1.7	3.0	3.2	2.5	2.8	2.6	3.0	2.5		2.9
元気アップ 総合事業	月間利用延人員	36	70	56	54	30	59	59	44	58	56	67	65	654	55
	1日平均利用人員	1.9	3.2	2.5	2.6	1.6	2.7	2.8	2.1	2.9	2.8	3.4	2.8		2.6
合計	開所日数	19	22	22	21	19	22	21	21	20	20	20	23	250	21
	職員体制	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11		11
	月間利用者総数	395	615	658	560	392	718	611	526	645	578	672	765	7,135	595
	1日平均利用人員	20.8	28.0	29.9	26.7	20.6	32.6	29.1	25.0	32.3	28.9	33.6	33.3		28.4
	前年度 月間利用者総数	685	530	601	638	508	498	600	589	560	357	485	600	6,651	554

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止による営業休止期間

令和4年4月4日(月)(1日間)

令和4年8月22日(月)～8月23日(火)(2日間)

令和4年4月18日(月)～4月22日(金)(5日間)

令和4年11月11日(金)(1日間)

令和4年8月2日(火)～8月3日(水)(2日間)

令和4年11月16日(水)～11月18日(金)(3日間)

令和4年8月5日(金)～8月10日(水)(4日間)

令和5年1月23日(月)～1月25日(水)(3日間)

※休業期間中もご本人様、ご家族様の利用の要望があり少人数で稼働したこともあり。

横市デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険 通所事業	月間利用延人員	169	168	173	116	122	124	101	118	109	88	72	62	1,422	119
	1日平均利用人員	8.0	7.6	7.9	5.5	5.3	5.6	4.8	5.4	5.5	4.4	3.6	2.7		5.5
介護予防 総合事業 通所事業	月間利用延人員	39	38	41	43	44	42	34	36	36	21	46	45	465	39
	1日平均利用人員	1.9	1.7	1.9	2.0	1.9	1.9	1.6	1.6	1.8	1.1	2.3	2.0		1.8
元気アップ デイ事業	月間利用延人員	36	55	54	50	58	53	52	59	54	37	36	52	596	50
	1日平均利用人員	1.7	2.5	2.5	2.4	2.5	2.4	2.5	2.7	2.7	1.9	1.8	2.3		2.3
合計	開所日数	21	22	22	21	23	22	21	22	20	20	20	23	257	21
	職員体制	5	5	5	5	5	5	5	4.5	4.5	4.5	4.5	4		5
	月間利用者総数	244	261	268	209	224	219	187	213	199	146	154	159	2,483	207
	1日平均利用人員	11.6	11.9	12.2	10.0	9.7	10.0	8.9	9.7	10.0	7.3	7.7	6.9		9.6
	前年度 月間利用者総数	257	233	255	262	255	283	251	282	274	207	230	273	3,062	255

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止による営業休止期間

令和4年7月6日(月)(1日間)

令和5年1月10日(火)～1月16日(月)(5日間)

※ 台風14号による営業休止

令和4年9月19日(月)(1日間)

## 地域包括支援センターの概況

都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

### 1 運営方針

高齢者及びその家族が住みなれた自宅で安心してその人らしい生活が送れるように、医療と介護の連携、地域ケア会議の推進、生活支援サービスの充実及び向上を図り地域包括ケアシステムの構築と在宅生活の支援に努めた。

介護保険制度の理念に基づき地域包括ケアの中核として円滑な運営を図り、本人の意思及び人格を尊重して自立した生活ができるよう公共性および地域性ならびに協働性の視点に基づいた事業運営に取り組んだ。

### 2 事業の概要

#### (1) 総合相談支援

各分野の専門職を配置し、4職種を中心に地域における問題を総合的に受け止め、問題解決にむけ関係機関と連携を図り継続的かつ専門的な相談支援体制を構築し、地域の福祉相談の中核としての役割を果たせるよう努めた。

#### (2) 権利擁護

後見制度に関する周知、消費者被害対応、虐待の防止など高齢者の権利擁護の実践に努めた。関係機関とも連携することで、地域の集いへの参加等を通じ啓発活動を行い制度の周知啓発に努めた。

#### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対して包括的かつ継続的で適切なサービスが提供されるように、地域ケア会議の開催を通じて、地域団体ならびに専門機関と協働して、地域の多様な社会資源を活用した包括ケア体制の構築に努めた。困難なケースに対して職員間で相談しチーム対応を行った。地域の介護支援専門員からの相談に対し、助言や指導にて後方支援を行った。

#### (4) 介護予防ケアマネジメント

効率的かつ効果的な介護予防が提供されるよう、適切なケアマネジメントを実施した。介護予防対象者の積極的な把握を行うと同時に、市が推進する地域での介護予防教室（こけないからだ作り講座）の普及・支援に努め、総合事業、予防給付が効率的かつ効果的に提供されるように適切にケアマネジメントを行った。

(5) 認知症地域支援推進事業

認知症地域推進委員会を中心に認知症高齢者の把握と支援体制の構築に努めた。

(6) 自立支援型地域ケア会議モデル地域包括支援センター

都城市より指定を受け、介護保険課及び専門職能団体によるケアマネジメント支援や、先進地派遣研修、他地域包括支援センターへのケアマネジメント支援など、介護保険課と協力し行った。(令和4年度まで)

＜包括＞令和4年度 実績報告

月	相談件数									予防プラン (委託：下段)	こけない 体操教室	多職種連 携会議
	総合相談	権利擁護	包括的・ 継続的ケ アマネジ メント	介護保険 に関する 事	任意事業	保健医療 認知症	住宅改修	ケア会議 (コア会 議含)	計			
4月	138	15	14	63	42	30	13	1	316	237 90	4	7
5月	128	7	15	70	17	20	8	0	265	236 90	10	13
6月	122	10	14	61	34	16	15	1	273	248 94	5	27
7月	105	5	9	58	23	18	12	0	230	237 92	9	14
8月	150	9	13	69	29	33	16	2	321	226 89	1	10
9月	121	10	13	64	24	22	10	0	264	231 91	0	19
10月	158	10	14	79	14	22	9	0	306	237 92	1	17
11月	140	10	24	75	17	24	6	1	297	237 93	5	36
12月	111	3	13	59	16	18	6	0	226	236 91	10	20
1月	143	8	23	70	14	26	7	0	291	236 97	7	20
2月	158	14	25	88	33	28	15	1	362	236 92	9	16
3月	177	6	14	89	27	28	11	0	352	263 92	7	20
合計	1651	107	191	845	290	285	128	6	3503	2860 1103	82	226